

本日のプレゼンテーションの目的

- 構想をともに実現する仲間作り
(賛同者・応援者・協業者など)

SDGsとソーシャルインクルージョン

SDGs

誰一人取り残さない。
No one will be left behind.

SDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



1 貧困をなくそう
2 質の高いエネルギーを
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を
6 安全な水とトイレを世界中に
7 持続可能なエネルギーを
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年までに達成を目指す世界の共通目標
17の目標を達成すれば、持続可能な開発を実現できる

SDGs（エス・ディー・ジーズ）は「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月、国連サミットで世界共通17のゴール（目標）が採択されました。国連加盟193か国が2030年までに目標達成を目指し、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

ソーシャルインクルージョン (社会的包摂)

・ 全ての人々が社会に参画する機会を持ち、共に生きていくこと

・ 社会的に弱い立場と言われる人々を排除するのではなく、社会の一員として包み支え合うこと。



自己紹介

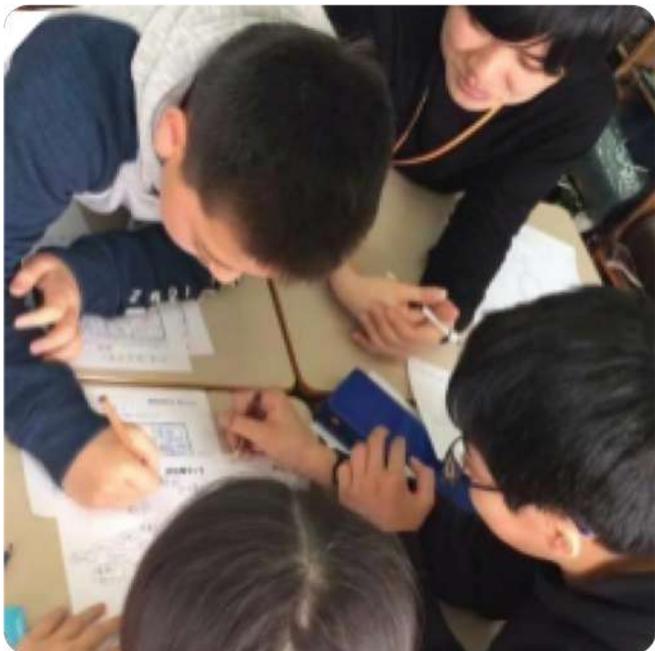
山田 芳毅(やまだ よしき)

1991年 広島県広島市生まれ。
立教大学社会学部卒業

株式会社マイナビにて約3年ほど大学生向けメディアの編集&事業企画。

旧・株式会社リクルートキャリアにて約3年ほど転職エージェントのキャリアアドバイザーや企業向け採用コンサルティング。
その後、1年間キャリアコーチングの個人事業主。

2021年10月にKEIPE株式会社へ入社。就労支援に取り組む傍ら、障害者向けに自己理解・キャリア関連のワークショップを自社内で開催。



私がやりたいこと



SDGsの理念の下、

お笑いの力と影山理論を用いて

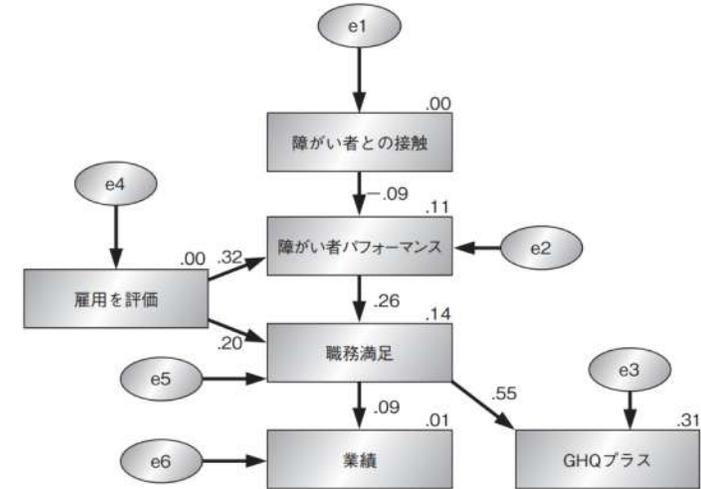
障害者と地域企業の分断を減らす

影山教授の研究紹介

■論文「障がい者雇用の『組織内マクロ労働生産性』改善効果(2012)」より

→
障害者は単体としては健常者と比べ生産性は低いかもしれないが、他の社員にプラスの効果を与え、社内全体としての生産性を高めることを証明。

【パス図】



■論文『障がい者の就労が健常者の業務パフォーマンスに与える影響 ——M. I. E モデルの中核企業における調査をもとに——(2020)』より

→
社内で就労する障害者は、健常者社員の倫理観や支援姿勢、協力志向、心理的安全性の向上へ影響し、結果として健常者社員の業務パフォーマンスを上げることが証明。



全国の「障がい者雇用」の現状

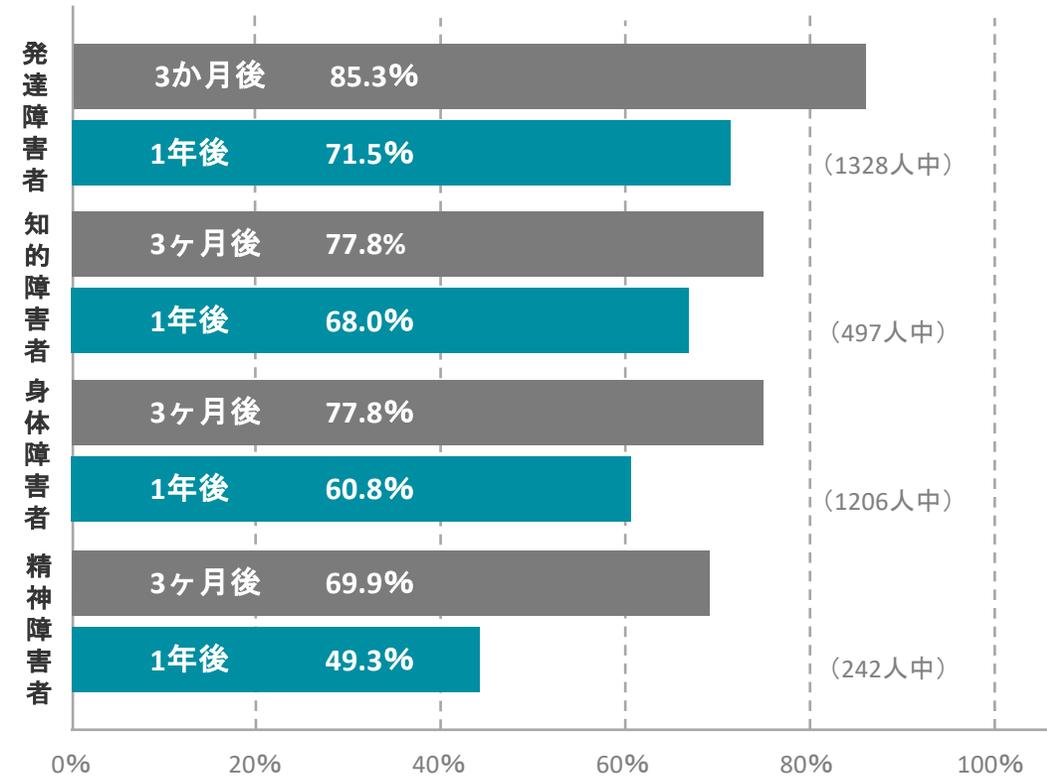
特に、**精神障がい者雇用の定着率は低め。**
現状良いマッチングになっているとは言えない

一般求人を含む障がい者の職業紹介状況についての調査によると、知的・発達障害者の定着率が1年後でも71.5%と定着率が高い一方で、身体障害者が60.8%、精神障害者に至っては49.3%と半分を切っています。私たちはこれらの課題が起こる原因として、障がいのある人が本来持つべき企業の情報を持っていないこと、企業が雇用するにあたっての障がい理解や職場づくりに関する情報を持っていないことが課題だと特定しました。



お互いに長く働くためには「良いマッチング」が重要！

■ 障がい者の職場定着率（障害種類別）



引用：厚生労働省 平成29年 障害者雇用の現状等
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouanteikyoku-Soumuka/0000178930.pdf>

山梨県の「障がい者雇用」の現状

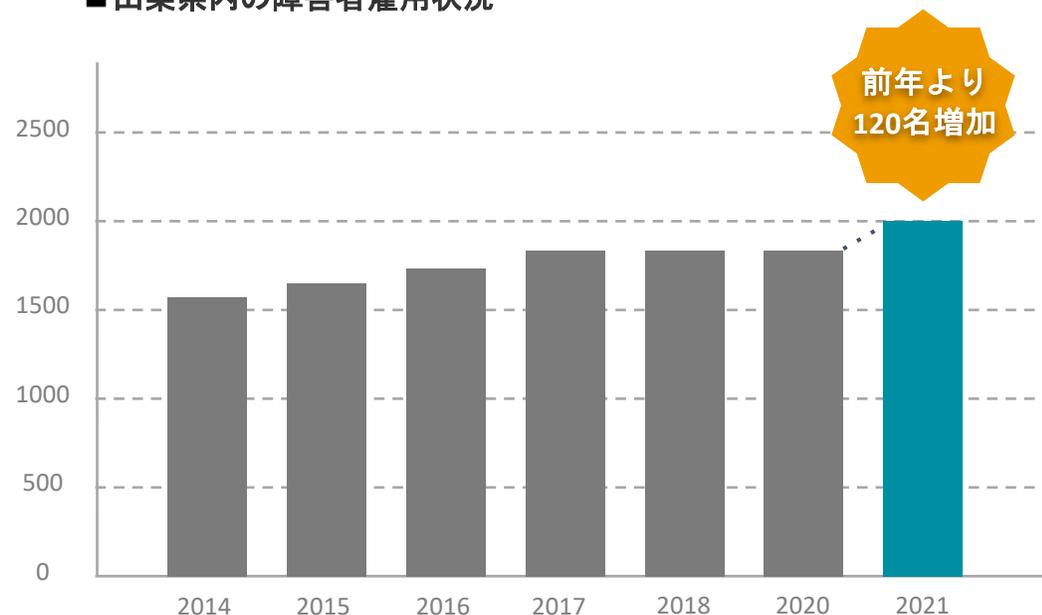
県内企業の障がい者雇用は9年連続で増加しているが障がい者雇用義務があっても雇用が0人の企業は24.1%

引用：山梨県における令和3年障害者雇用状況集計結果～<https://site.mhlw.go.jp/yamanashi-roudoukyoku/content/contents/001046364.pdf>

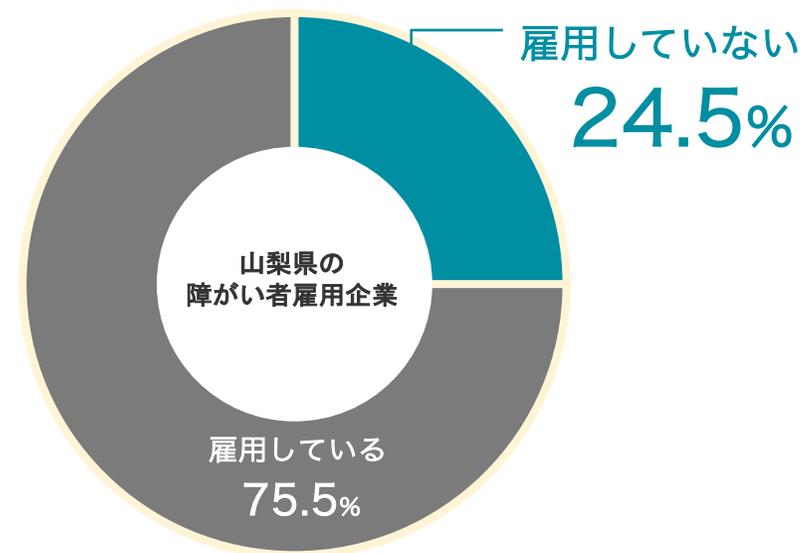
山梨県内で、民間企業に雇用されている障がい者の数は2008名で前年より120名増加しており、9年連続で過去最高となっています。

しかし、雇用義務のある企業においても「障がい者雇用が0人」の企業は24.1%で、まだまだ課題が残されているのが現状です。

■ 山梨県内の障害者雇用状況



■ 山梨県の障がい者雇用企業率



山梨でSDGs漫才ワークショップを開催したい



- 吉本の漫才コンビ・フランポネによる授業。

- 参加者は、実際に**SDGs**に関連したコンビ名やネタを考え、発表し合う。



- SDGsについて理解を深めながら、笑いの力で企業人と障害者の間にある心の壁を取り除く。

賛同企業 & 芸人誘致代を
クラウドファンディングで集めたい



**アイデアはあるけど、
＼お金がない！／**

そんな方は「#やまなしクラウドファンディング」で
資金を集めて、あなたの考えたプロジェクトを実現させよう!!

#やまなしクラウドファンディング

CAMPFIRE

#やまなしクラウドファンディング **検索** 

このような想いを持った背景

①SDGsへの関心

②障害者就労支援の経験

③笑いに感じる可能性

④企業の在り方への関心

①SDGsへ関心を抱いた背景

【小学生】 こども新聞記者活動。こども環境エコクラブ活動。

【高校】 留学を通じた海外への関心。
貧困国への経済支援やジャーナリズムへの関心

【大学】 ホームレスや報道への関心／課題解決への関心

【社会人】 キャリア教育NPOでのプロボノ活動を通じて
「社会課題」「ソーシャルビジネス」へ関心を持つ

【現在】 障害福祉ベンチャー & SDGsカフェ運営委員の活動

②笑いに感じる可能性

英語落語



大喜利



SDGsとお笑い

①吉本興業の取り組み

ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社の設立



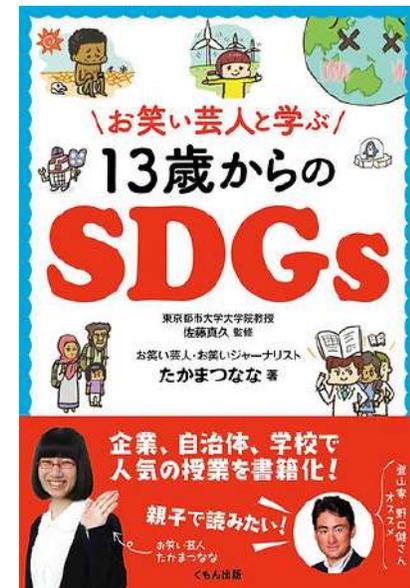
2030年を笑顔であふれる世界に！

吉本興業は、国際社会の一員として、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し「笑顔」につなげる活動を通じて、より良い国際社会の実現に貢献・応援いたします。



引用元：吉本興行株式会社

②笑下村塾の取り組み



引用元：株式会社 笑下村塾

③障害者就労支援の経験

■この仕事を選んだ動機

生きづらさを抱える人が
社会で居場所を築くことを支援したい

③障害者就労支援の経験

■仕事を通じて学んだこと

「障害者」は別世界のものではない

③障害者就労支援の経験

■仕事を通じて学んだこと

「障害」は本人ではなく、
社会の側にある。
(社会との間)

③障害者就労支援の経験

■仕事を通じて抱いた問題意識

「障害者雇用」だからといって、
本人がイキイキ輝くキャリアを
諦めなくても良い世界に

④企業の在り方への関心



幸せな
「働きたくてたまらないチーム」の作り方
職場の
前野隆司
経営学

場所 時間 休日 すべて社員が小学院自分で決める

「働き方」に制約なし!
→生産性30%アップ

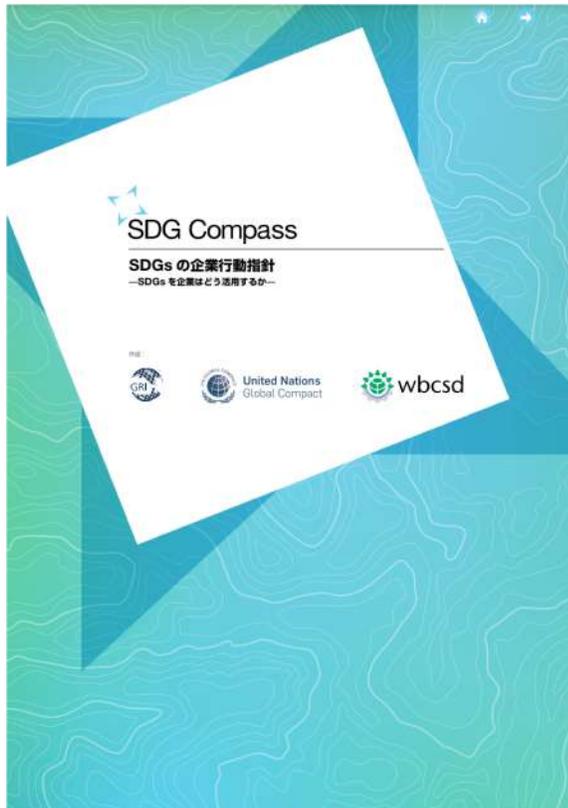
幸福学の第一人者が教える、本当の「働き方改革」



本業を通じた社会貢献を实践する

経営実践研究会

④企業の在り方への関心



将来構想

障害者に限らず、
様々なマイノリティや
生きづらさを抱えている
方々・市民の分断を
笑いの力で繋げていき、
誰一人取り残さない
社会にしていきたい。

